

指定管理者の期末モニタリング

| | | | |
|-------|---|-----|-------|
| 施設名 | 宮代町総合運動公園 | 年度 | 令和2年度 |
| 指定管理者 | ミズノグループ | 担当課 | 教育推進課 |
| 指定期間 | 平成30年4月1日～令和5年3月31日 | 期別 | 第3期 |
| 施設の目的 | 町民の健康増進と、スポーツ・レクリエーション活動の普及促進を図るために設置する。 | | |
| 業務の内容 | (1)施設の維持管理に関すること。 (2)利用の承認及び利用の取り消しに関すること。 (3)利用料金の納入及び利用料金の免除、利用料金の返還に関すること。 (4)自主事業をはじめ当該公園施設を有効に活用するために必要なこと。 | | |

| | |
|---|--------------------|
| 総合的な評価 | |
| 【総合評価】 | A優良 1 B適正 12 C改善 1 |
| ・緊急事態宣言における休館対応や、コロナ禍での施設運営、ガイドラインの策定など状況に応じて迅速に行っている。 ・利用者を第一に考え、施設利用情報の適切な発信や利用者のニーズに耳を傾け、真摯に対応している。 ・利用者を増やすため、コロナ禍に対応した方法で積極的に大会や体験会を開いている。 ・祝日翌日や7月及び8月の月曜日の開館等、積極的に利用日の拡大を進めている。 | |
| 【評価事項】 | |
| ・緊急事態宣言下での休館対応や、コロナ禍での施設運営、ガイドラインの策定等で状況に応じて迅速に対応を行っている。 ・コロナ禍でも自主事業が実施できるよう、事業に応じて感染症対策を講じる等の創意工夫を行っている。 ・利用者へ向けて様々な情報発信を適切に実施している。 | |
| 【改善事項】 | |
| ・高齢者向けの事業は町健康介護課と連携しながら順調に実施できているが、障がい者向けの事業は一部しか実施できていないため、今後は障がいの有無に関わらず誰もがスポーツを楽しめる環境づくりに取り組むことが重要である。 ・レジオネラ菌が発生しているため、再発防止の取り組みを徹底してほしい。 | |

| | | |
|---|----|------|
| 1. 施設の管理運営・事業 | 評価 | B 適正 |
| 令和2年度の利用料金収入及び利用人数は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る緊急事態宣言等の影響で施設の利用や各種事業が例年通り実施できない状況であった影響が大きく、いずれも目標数に及ばず、達成率は目標値の約50%となった。しかしながら、緊急事態宣言における休館対応や、コロナ禍での施設運営、ガイドラインの策定など状況に応じて迅速に行っていたことは高く評価できる。また、プール等の自主事業についても、新型コロナウイルス対策を迅速に実施し、早期の再開に向けた対応を行っていたことも評価できる。 また、祝日の翌日の開館や7月及び8月の月曜日の開館など、利用者の目線に立った管理運営を行っていた。 | | |
| ・利用料金収入 令和2年度目標 29,970,000円 令和2年度実績 15,278,850円 ※目標値の51%、前年比 14,691,150円減 令和元年度実績 28,283,700円 | | |
| ・利用人数 令和2年度目標 245,000人 令和2年度実績 123,609人 ※目標値の50%、前年比 121,391人減 平成30年度実績 219,466人 | | |
| 2. 利用者の公平確保 | 評価 | B 適正 |
| 適正に施設の貸し出しを行い、公平性を確保していた。野球場の予約の方法について課題があったが、問題を整理し、適切に対応を実施していた。 また、新型コロナウイルス感染症への対応として利用料金の返金を状況に応じて適切に行っていた。 | | |
| 3. 職員の配置、研修等 | 評価 | B 適正 |
| トレーニング室やプール監視員については、有資格者を配置するなど適正な人材を配置し、仕様書及び事業計画書に基づき、適正に人員を配置していた。 | | |

| | | |
|---|----|------|
| 4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検 | 評価 | B 適正 |
| <p>清掃、設備の保守点検など施設の維持管理業務は仕様書及び事業計画書に基づき、適正に実施されていた。</p> <p>また、緊急対応を要する事態に対して、迅速に対応する等、利用者への影響を極力減らすための措置をとっていた。</p> | | |
| 5. 施設の修繕 | 評価 | B 適正 |
| <p>施設の経年劣化等により複数箇所の修繕が必要となる中、緊急度や規模により優先順位を判断した上で、順位の高いものから修繕を実施しており、町への報告も適切に行われていた。また、スロープを修繕する等の利用者への安全の配慮も見受けられた。</p> | | |
| 6. 備品管理 | 評価 | B 適正 |
| <p>台帳を整備し、適正に管理を行っていた。新型コロナウイルス感染症対策用品も適切に管理し、利用者及びスタッフ等が感染症対策を常に実施できるようにしていた。</p> | | |
| 7. 安全・危機管理 | 評価 | C 改善 |
| <p>強制シャワー及び男子更衣室シャワーの2か所でレジオネラ菌が基準値以上検出され、一時期プールの営業停止となった。過去にもレジオネラ菌が発生しており、保健所の指導を受けているため、引き続き再発防止の取り組みを徹底してほしい。</p> | | |
| 8. 個人情報の管理 | 評価 | B 適正 |
| <p>申請書をはじめとする個人情報に関する資料は施錠できる倉庫に保管するなど適正に管理をしていた。</p> | | |
| 9. 利用者ニーズの把握・反映 | 評価 | B 適正 |
| <p>お客様の声ボックスを設置し、利用者からの意見や要望を聞き、その回答を掲示することで、利用者への周知を行うとともに、施設管理、運営に取り入れるよう努めていた。また、第1、第2駐車場のラインの引き直しやベルトトレーナーの修繕など、利用者からの要望に真摯に対応していた。</p> | | |
| 10. 自主事業の実施 | 評価 | A 優良 |
| <p>指定管理者のノウハウを活かした各種スポーツ教室や健康教室など幅広い世代に対する事業を展開し、施設を効果的に活用していた。高齢者向けの事業では、前年度に引き続き町健康介護課と連携しながら、健康体操を実施し、高齢者等が身体を動かす機会を提供した。また、コロナ禍における利用者ニーズを踏まえて、新たにウォーキング教室や団体向けの体力測定会・運動指導を実施した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応により、ミズノフェスタ等の大規模イベントが中止となってしまったが、コロナ禍でも自主事業が実施できるよう、ガイドラインを作成したり、事業に応じて感染症対策を講じる等の創意工夫を行っている。</p> | | |
| 11. 経費節減 | 評価 | B 適正 |
| <p>水道使用量を定期的に確認することで、シャワー室地下の漏水を早期発見し、修繕することで水道料金の急激な上昇を抑えた。また、夏場の夜間にプールの屋根を開放し水温を下げることや施設全体に節水コマを取り付けることなど、引き続き、水道料金及び重油料金の削減に努めていた。</p> | | |
| 12. 環境への配慮 | 評価 | B 適正 |
| <p>芝や枝を敷地内で処分するなど廃棄物の削減に努めていた。</p> | | |
| 13. 利用者への情報提供 | 評価 | B 適正 |
| <p>指定管理者ホームページや町広報紙だけではなく、小中学生向けイベント実施の際は町内小中学校にチラシを配布する等、効果的に情報発信を行っていた。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る情報や施設利用のガイドライン等も指定管理者ホームページ等において速やかに周知していた。</p> | | |
| 14. 会計管理 | 評価 | B 適正 |
| <p>電算処理を行い、収支計画に基づいて適切に会計処理を行っていた。</p> | | |